

当社を取り巻く競争環境および 小売全面自由化後の取り組み

2025年10月7日



このまち思いエネルギー。

広島ガス株式会社

- 1. 会社概要**
- 2. 当社を取り巻く競争環境**
- 3. 現状の課題と当社の取り組み紹介**

1 - 1. 会社概要



■ 本社所在地

広島市南区皆実町二丁目7番1号

■ 創立

1909年（明治42年）10月

■ 従業員数

654名（2025年3月末）

■ 売上高

単独 700億円 連結 915億円 ※2024年度実績

■ 事業内容

ガス事業、ガス器具の販売、液化天然ガスの販売、電力事業

■ お客さま件数

約41万8千件（2025年3月末）

■ 供給区域

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、
福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町



1-2. 会社概要（供給区域）



- 広島県内の**広島県の7市4町**においてガス事業を営んでいる
- 左側の**広島・呉地区**においては、**廿日市工場**から**市中のガス導管**を通じて、ガス供給を実施
- 右側の**尾道・三原地区**については、**廿日市工場**から**備後工場**まで**LNGローリー**で原料を**輸送した後、備後工場からガス導管を通じて、ガス供給を実施**
- 供給区域外も含めたローリーによる**サテライト供給**のニーズも増加傾向
- 広島県内の他のガス事業者に対する**卸供給も実施**している

供給区域と体制

供給区域（広島県内7市4町）

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市
安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

備後工場



1-3. 会社概要（調達先等）



- サハリン、マレーシア、大阪ガス(株)から長期LNG売買契約に基づき、年間約35万tのLNGを調達
- 既存のLNG調達に関する契約は2027年度以降に順次期間満了となるため、
2028年度以降の最適なLNG調達ポートフォリオの形成を目指し、現在検討を進めている

	サハリン	マレーシア	大阪ガス
締結時期	2006年4月	2015年9月	2014年7月
契約期間	2008年4月～ 2028年3月 (20年)	2016年4月～ 2031年3月 (15年)	2016年1月～ 2031年3月 (15年)
契約数量	最大21万t/年	約10万t/年	約5万t/年

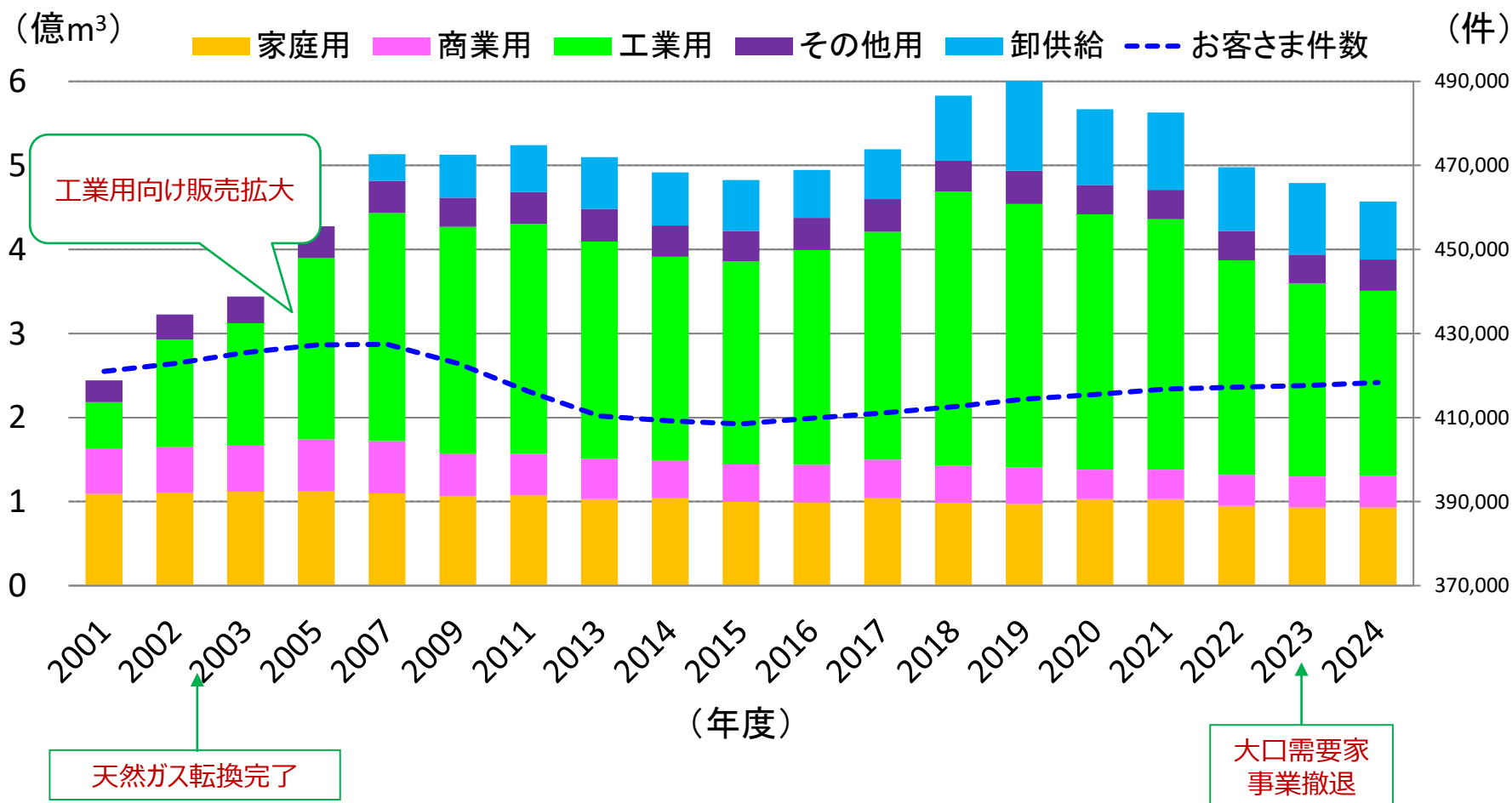


写真提供:国土交通省中国地方整備

1-4. 会社概要（都市ガス販売量の推移）



- 都市ガス販売量は、2019年をピークに、**大口需要家の撤退**なども有り、減少傾向
- 24年度の都市ガス販売量は、約459百万m³であり、前年度比△4.4%
- お客さま件数は、営業活動等の成果により足元では漸増傾向

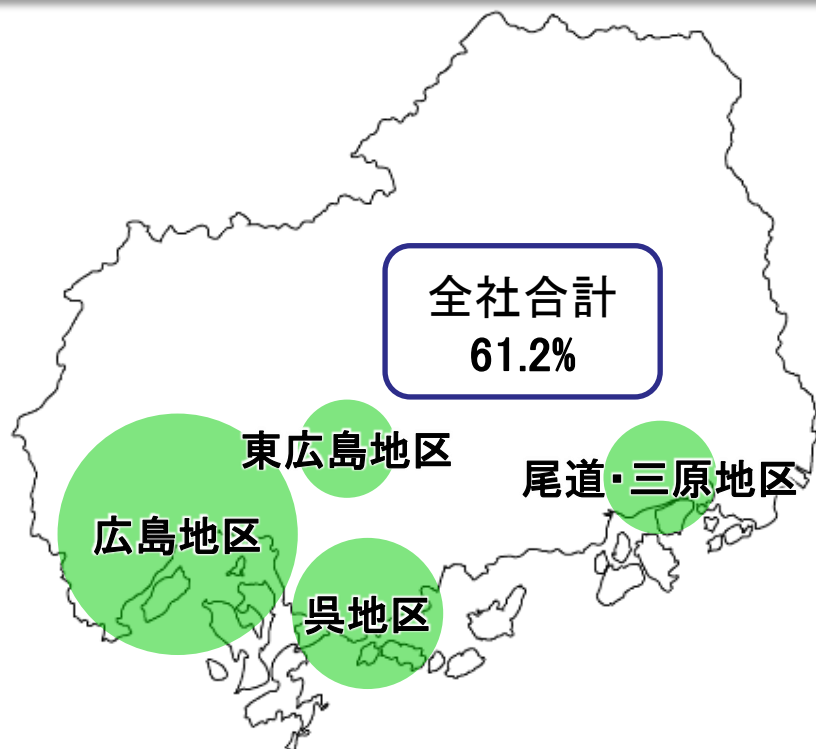


2. 当社を取り巻く競争環境



- 当社の供給区域における都市ガス普及率は約6割
- 新築市場においては、戸建の電化率、集合のLPGの割合が高い
- 既設市場においても2023年度まで、逆転換（都市ガスからLPまたは電化への転換）件数が、都市ガスへの転換戸数を上回っており、新築・既設共に他燃料との激しい競争が続いている

供給区域内における都市ガス普及率

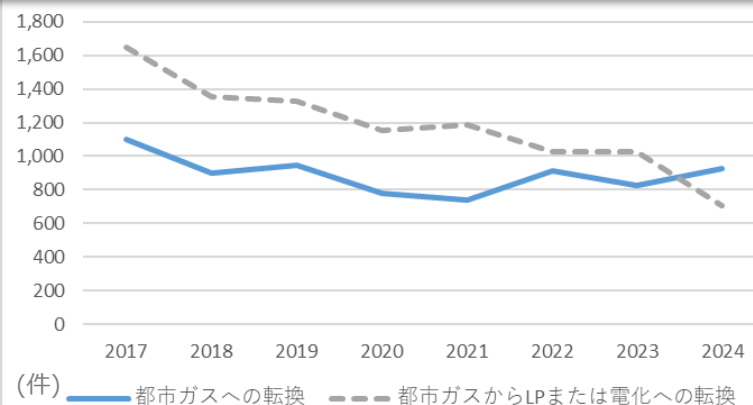


※2024年度末時点

新築市場における都市ガスシェア

	全体	戸建	集合
都市ガス	62.1%	54.8%	66.0%
LPG	21.6%	1.2%	32.8%
電化	16.3%	44.0%	1.2%

既設市場における競争状況

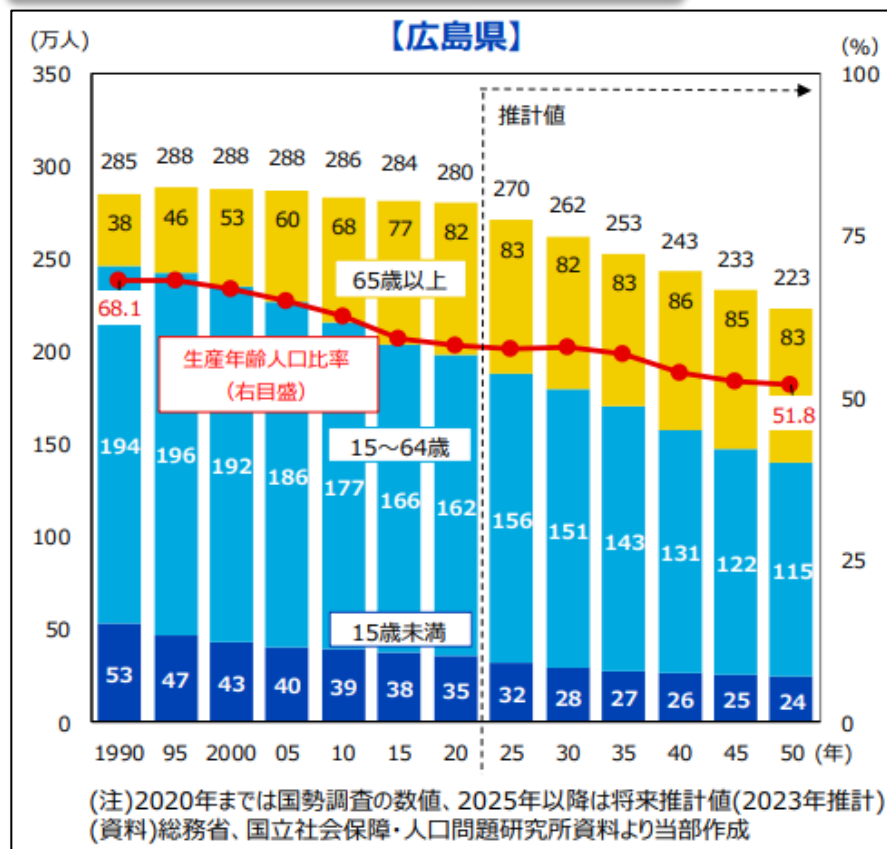


(参考) 広島県の人口推移

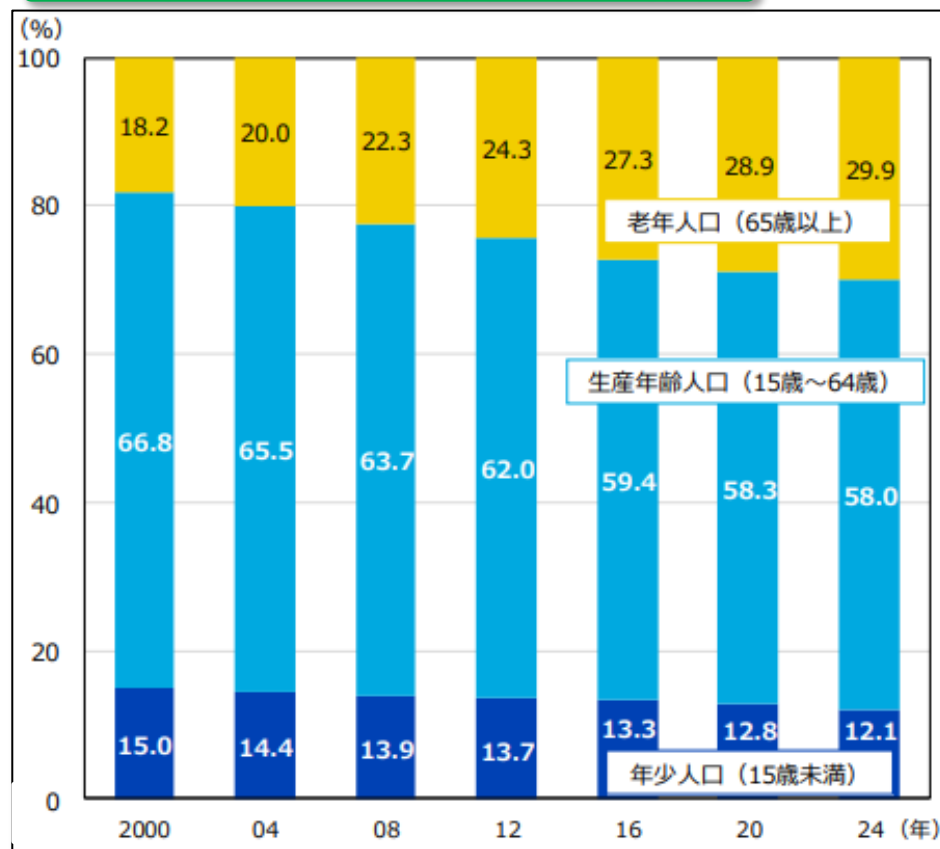


- 2000年以降の推移をみると、老年人口割合の上昇が続く一方、年少人口割合および生産年齢人口割合は一貫した低下が続いている
- 国立社会保障・人口問題研究所によれば、広島県の総人口は2025年以降、減少ペースが加速し、**2050年には223万人（2020年比▲57万人）まで減少**すると推計

広島県の総人口の推移と将来推計



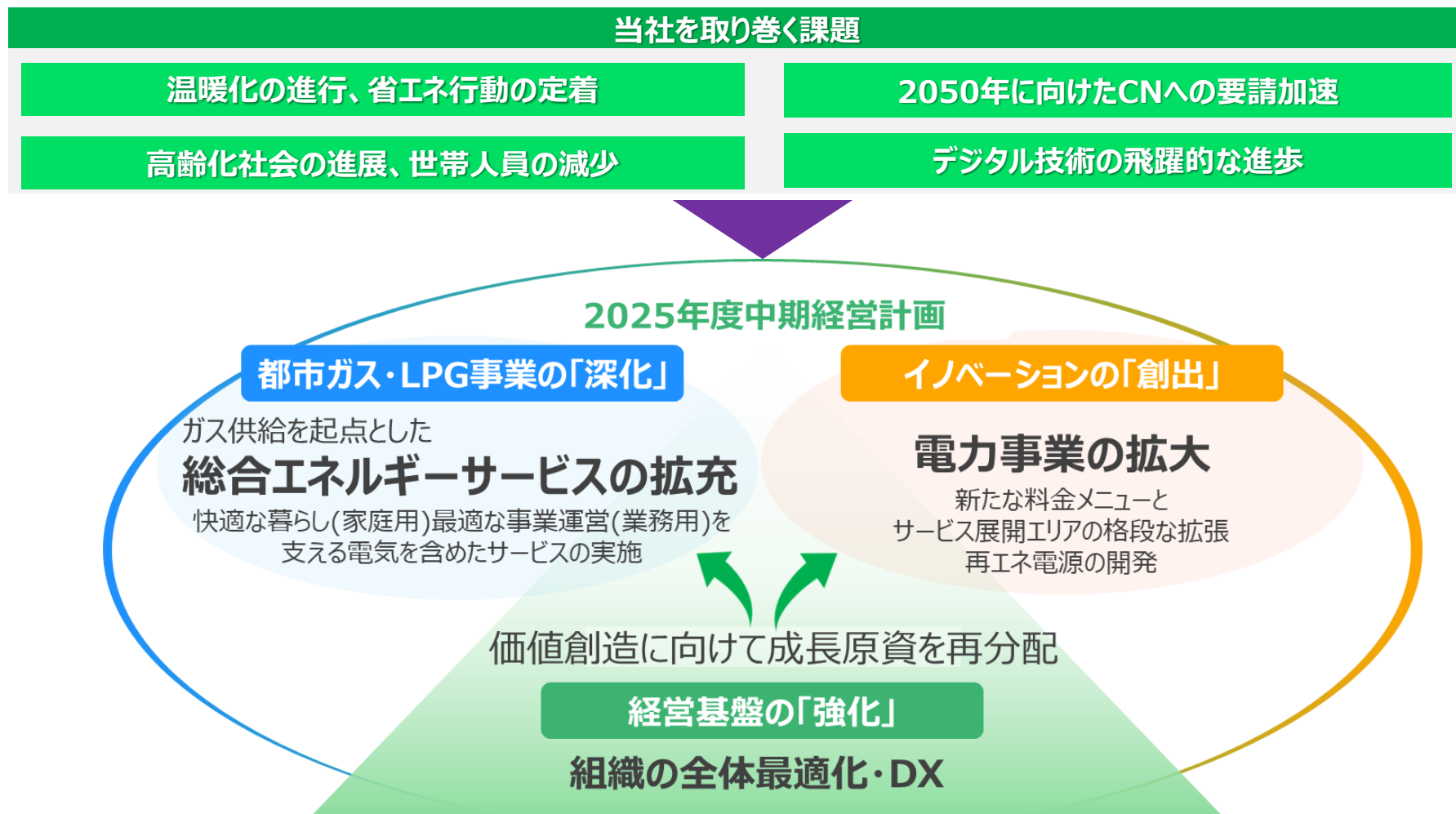
広島県の総人口の年齢構成比の推移



3-1. 現状の課題と当社の目指す姿



- 世帯人員の減少等により、ガスの戸当たり販売量は減少傾向
- ガス供給を起点とした総合エネルギーサービスの拡充および、電力事業の拡大の両輪で持続的な成長を目指している



3-2. 都市ガス事業の「深化」に向けた取り組み

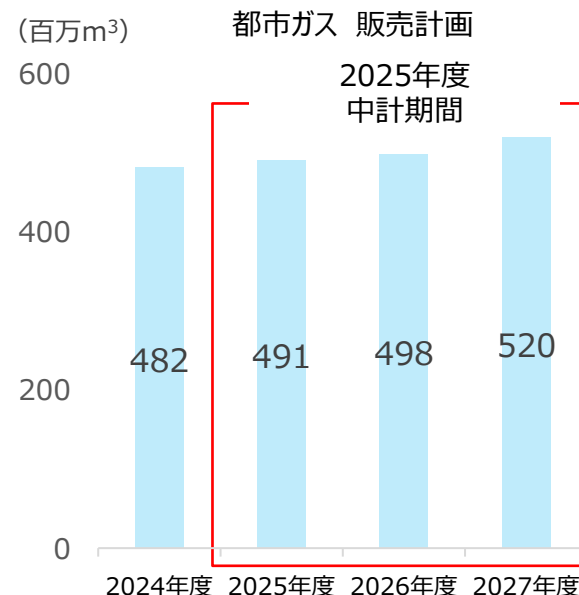


- ガス事業については、**安心・安全を大前提**に、総合エネルギーサービス事業者として**市場の拡大に挑戦**
- 特に、産業分野における燃料転換は、**確実かつ大規模なCO₂削減を見込むことができる**ため、将来の都市ガスの脱炭素化を視野に入れつつ、**他燃料から都市ガスへの燃料転換を推進**

安心・安全の追求 - 地域社会から信頼される会社として -

✓ 製造・供給段階での保安に加え消費段階での安心・安全の取り組みを強化

- ・ 総合的な保安対策の立案・推進のための組織変更、定期的な検証の実施
- ・ お客さまへの安全周知・啓発活動の強化



市場の拡大 - 総合エネルギーサービス事業者への進化 -

✓ 家庭用

- ・ 電気を含めた総合エネルギーサービス提案の強化
- ・ 快適な暮らしを支える周辺サービスの強化

✓ 業務用・工業用

- ・ **石油・石炭等からの燃料転換や新規獲得営業の継続**
- ・ 累積CO₂低減に資するサービスの強化（環境価値の活用を含む）
- ・ エネルギーサービス等を含むソリューション営業の強化

燃料転換を進める上での課題

- ・ 大規模な燃料転換を行う場合には、**工期が複数年度にまたがる**ことに加え、導管延伸費用等の**インフラ敷設コストが高額**となり、**需要家サイドにも負担が発生するケースも存在**
- ・ **インフラ敷設コストが需要家に生じるケースでは、燃料転換を断念する場合もある**
- ・ 需要家サイドが燃料転換の意思決定ができるような**環境整備が必要**

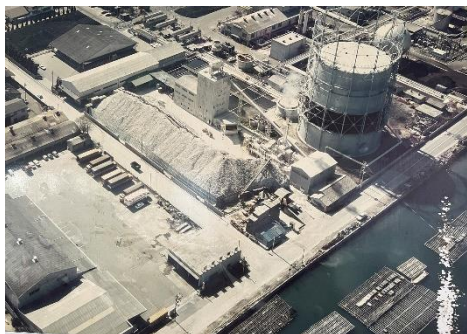
(事例紹介) 当社の燃料転換の事例



丸栄株式会社 海田工場さま (工業炉)

【物件概要】

- 事業概要：牡蠣殻飼料や肥料の製造
- 対象設備：乾燥炉 × 6基 (※2基新設)
- 燃転概要：A重油からの切替 (約1,400千m³/年)
- 実施時期：2022～2024年 (段階的に工事)



工場 全景



乾燥炉

【都市ガス化 効果】

- 定性的なメリット
 - ・ 燃料の維持管理費用や業務時間の低減
 - ・ 燃焼性向上による設備トラブル数の減少
 - ・ 遠隔監視システム等の付加価値提案
- 省エネ効果
 - ・ 原油換算削減量 ▲91 kL (省エネ率 7%)
- CO2削減効果 ※既存設備
 - ・ 排出削減量 ▲1,234 t-CO₂ (削減率 33%)

株式会社モルテン 高陽工場さま (ボイラ)

【物件概要】

- 事業概要：土木・建築用のゴム製品の成形
- 対象設備：炉筒煙管ボイラ⇒貫流ボイラへ更新
- 燃転概要：A重油からの切替 (約220千m³/年)
- 実施時期：2024年



(燃転前) 炉筒煙管ボイラ



(燃転後) 貫流ボイラ

【都市ガス化 効果】

- 定性的なメリット
 - ・ 燃料の維持管理費用や業務時間の低減
 - ・ 炉筒煙管ボイラから貫流ボイラ化によるオペレーション効率化
- 省エネ効果
 - ・ 原油換算削減量 ▲49.8 kL (省エネ率 16%)
- CO2削減効果 ※既存設備
 - ・ 排出削減量 ▲319 t-CO₂ (削減率 37%)

3-3. 小売全面自由化以降の料金・サービスの概要



- ガス小売全面自由化以降、競争力の維持・向上に向け、様々な料金・サービスを展開

2017年4月
ガス小売 全面自由化

2022年4月
導管部門 法的分離
(大手3社)

料
金

2017年12月～ ガスファンヒーターはじめて割 開始

2018年 7月～ 学びと長寿応援プラン 開始

2020年 8月～ 家庭用暖房契約適用条件拡充

2019年 4月～ エネファーム余剰電力買取サービス 開始

2017年1月～ web会員サービス開始



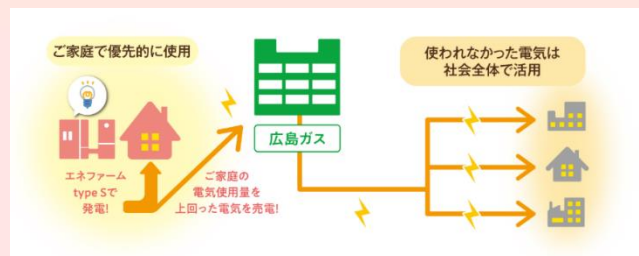
- ・使用量や料金の見える化
- ・ポイントサービス (2017年4月～)

2017年4月～ 生活関連サービス拡充



- ・水まわり駆けつけサービス
- ・リフォームパックサービス
- ・ガス機器修理サービス
- ・安心・安全サービス

サ
ー
ビ
ス
拡
充



2023年 4月～
エネファームの導入促進によるCO2削減事業 開始



3-4. 電力小売事業拡大に向けた取り組み



- ガス事業と電力事業の両輪で持続的な成長を目指すべく、2022年1月に小売電気事業の登録を行い、2024年1月から 電力の販売を開始
- 2025年2月から、市場連動型の料金メニュー「このまち電気」の販売を開始

電力事業の拡大

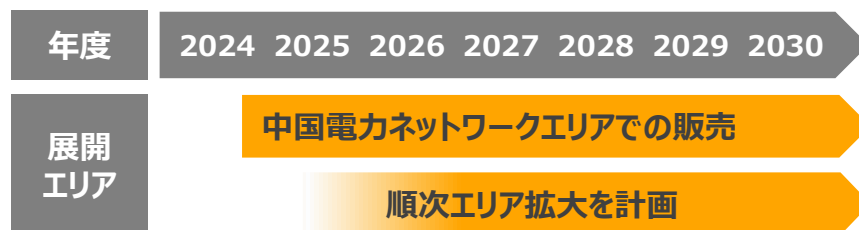
- ✓ 更なるエリア拡大を計画・実施
- ✓ 代理店網拡大に向けた営業活動の実施
- ✓ 代理店支援体制の構築と拡充

既存メニューと新メニューの比較

	既存メニュー	新メニュー
名称	エコプランM/L	このまち電気
料金形態	従量料金固定 (従量料金が固定されており、 燃料調整費制度がある)	市場連動型 (市場電力量料金によって 従量料金が変わる)
販売対象	制限あり (当社グループのガス需要家のみ)	制限なし
展開エリア	グループ会社の ガス供給エリアのみ	中国電力NWエリア 全域※
販売チャネル	広島ガスグループ代理店 Web等	広島ガスグループ代理店 グループ外代理店 Web等

※2025年9月25日からサービス提供エリアを拡大し、
関東エリアおよび東北エリアでの「このまち電気」の提供を開始

事業展開イメージ



(万件)
10

5

0

順次、サービス展開エリアを拡大
契約件数 10万件を目指す

(年度) 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 12



3-5. お客様の安心・安全に向けた取り組み



- お客様の安心・安全に向けた取り組みとして、製造・供給・消費段階での取り組みを推進

お客様の安心・安全に向けた取り組み

製造段階

- 廿日市工場、備後工場、東広島製造所で都市ガスを製造しており、LNGの受け入れ、ガスの製造等については、中央制御室で集中的にコントロール
- 毎日の設備点検、定期的な保守や有事に備えた訓練を行うことで、安全かつ効率的に都市ガスを製造する体制を整備



中央制御室

供給段階

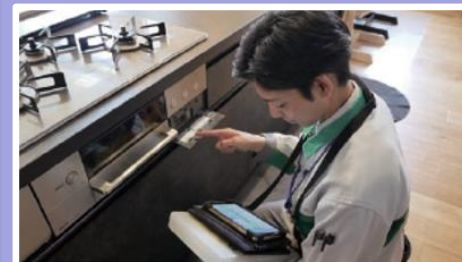
- 保安指令センターでは、工場で製造した都市ガスをお客様のもとへ安定してお届けするため、都市ガスの圧力、輸送状況等を常時監視
- 緊急時に備えて、夜間・休日でも迅速に対応できるよう24時間受付・出動できる体制を整備
- 災害対策本部や保安指令センターなどの供給保安機能は、大規模地震にも耐える「広島ガス防災センタービル」に集約



保安指令センター

消費段階

- お客様に安全にガスをご使用いただくために、ガス設備安全点検を行うほか、消費機器を正しく、安全に使用方法を記載したガイドブックを配布するなど、さまざまな保安活動に取り組んでいる。
- 2025年4月には、消費段階におけるお客様の安心・安全を守るための総合的な保安対策の立案・推進を行う組織を新設



ガス設備安全点検

(事例紹介) スマート保安の取り組み

- 廿日市工場では、ローカル5G環境の構築と高性能センサーを搭載した巡視点検ロボットによるスマート保安を実証中であり、ローカル 5 Gで収集データを即時送信し、異常や設備劣化の兆候を早期に把握
- ガスホルダー等の高所設備点検を、ドローンを活用して高度化・効率化
- 防爆型スマートフォンを活用し、中央制御室から現場作業を遠隔支援することが可能



広島ガス 廿日市工場

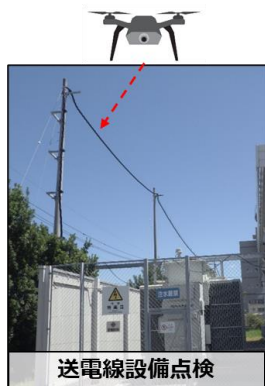


現場で作業するオペレーター

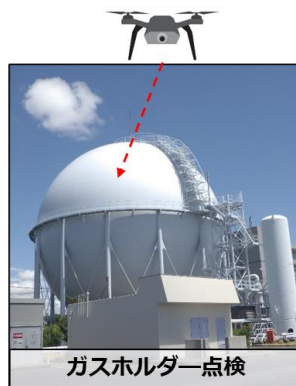


中央制御室などで遠隔支援

現場作業へのスマートデバイスの活用



送電線設備点検



ガスホルダー点検



グランドフレア点検

設備点検へのドローンの活用



巡視点検業務を担う走行ロボット

以 上